

報道関係 各位

2026 年 10 月 17 日
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム

俳優 村山輝星さん YouTube 新企画『きらり☆の気づきノート』始動 災害や紛争における人道支援、16 歳の視点で発信

～緊急人道支援のジャパン・プラットフォーム企画、能登支援のティザー動画を本日 10 月 17 日より配信開始～

緊急人道支援の国際 NGO ジャパン・プラットフォーム（東京都千代田区／以下、JPF）は、俳優 村山輝星さん（16）とともに、JPF と加盟 NGO の人道支援の現場を、中・高生にもわかりやすく伝える新企画『きらり☆の気づきノート』の配信をスタートします。

「私にも関係あるかも」 人道支援を身近に

JPF は昨年、「JPF25 周年特別応援団」として、NHK E テレや 24 時間テレビでの活躍を通じ、子どもや若い世代から親世代にまで広く親しまれている村山輝星さんに連携いただき、YouTube 動画『人道支援ってなあに？村山輝星×ジャパン・プラットフォーム』※を展開しました。一連の SNS 配信は、合計 12 万回以上再生されるなど、多くの反響を集めました。

本企画では、輝星さんが JPF の支援の現場を訪れて加盟 NGO の活動を体験したり、イベントなどに参加したりしながら、「なぜ人道支援が必要なの？」、「私たちにもできることはあるの？」といった素朴な疑問を、16 歳の等身大の視点で掘り下げ、輝星さん自身が感じたことを、イラストやメモで“きらり☆ノート”に描きます。

輝星さんならではの親しみやすい言葉で発信し、同世代の中高生やその保護者などの幅広い世代に、「私にも関係あるかも」と、人道支援を身近に感じられるきっかけとなることを目指します。



本日 10 月 17 日よりティザー動画を配信します！ 第一弾の本編（前編）は、11 月上～中旬に、[輝星さんの公式 YouTube『村山輝星のきらりチャンネル』](#)、JPF の公式 YouTube や SNS、加盟 NGO の SNS など配信を開始予定です。



村山輝星さん コメント

昨年、「JPF25 周年特別応援団」として JPF や加盟 NGO の活動について学び、世界には私の知らない現実がたくさんあることを知りました。ニュースでは遠い出来事のように感じてしまいがちでしたが、今回、支援現場を訪れて、実際に活動し、被災された方々のお話や NGO の皆さんの思いをお聞きし、とても身近なことに感じました。現場において生で見たこと、感じたことを、私の言葉や絵で伝えていきたいです。

第一弾は能登へ。輝星さんが“支援する側”を体験

『きらり☆の気づきノート』第一弾として、2024 年 1 月 1 日の能登半島地震とその 8 カ月後の豪雨災害による被災地を、2026 年 8 月に訪問。輝星さんは、3 つの JPF 加盟 NGO の支援地で、視察ではなく“支援する側”として活動し、地域の方々と交流しました。



（左から）子ども食堂／パルシック、移動図書館／シャンティ国際ボランティア会、地元スタッフに話を聞く／ピースボート災害支援センター

- **子どもたちの居場所をつくる支援とは？：**

子どもを含むさまざまな世代の居場所づくりを行う食堂で、学生ボランティアスタッフとして（能登町）／パルシック

- **移動図書館によって生まれた新たなコミュニティとは？：**

仮設住宅などを巡回する、移動図書館の運営スタッフとして（輪島市）／シャンティ国際ボランティア会

- **特別ではない“日常”をつくる支援とは？：**

常設型コミュニティ拠点「まちの間」の運営スタッフとして（輪島市町野町）／ピースボート災害支援センター

JPF は、能登半島地震発災当日より現在までに、救命から生活再建まで、石川県内 17 の市町村でのべ 17 の JPF 加盟 NGO による 43 の支援事業を実施してきました。国内外で人道支援を展開する上記 NGO は、発災直後から被災地に入り、支援を継続してきた団体のうちの 3 つです。

輝星さんは、地震から 2 年半以上が経過した能登で、人々の暮らしを支える支援、今も続く課題に触れ、長引く避難生活や地域コミュニティの再生に向けた中長期的な支援の現場を体験しました。輝星さんが描いた“きりり☆ノート”は、11 月上～中旬から配信される前編に続く、後編にて公開いたします。

村山輝星（むらやま・きりり）

2010 年生まれ、現在 16 歳。2017 年～2020 年、英語学習を楽しくする子ども向け番組 NHK E テレ「えいごであそぼ with Orton」レギュラー出演で注目を集める。CM やドラマ、バラエティ番組出演などで、明るく親しみやすい天真爛漫なキャラクターで幅広い世代に人気のある子役として活躍。2022 年、日本テレビ 24 時間テレビ「愛は地球を救う」でトライアスロンに挑戦し完走。2023 年、東京都子どもスマイルムーブメントのこどもアンバサダーなども務めるなど、次世代を担う若手タレント・俳優として活躍中。昨年は、“JPF25 周年特別応援団”に就任。「グローバルフェスタ JAPAN 2025」にも登壇し、JPF や加盟 NGO の活動について知る。



村山 輝星 さん

※関連動画配信：YouTube [人道支援ってなあに？村山輝星×ジャパン・プラットフォーム～前編、後編](#)

Instagram [NGO 企業ブースツアー前編、後編、JPF25 周年特別応援団メッセージ](#)

※関連プレスリリース：[村山輝星さん、“ジャパン・プラットフォーム 25 周年特別応援団”に就任。松平健さんと共に「グローバルフェスタ JAPAN2025」でステージイベントに出演](#)

■特定非営利活動法人（認定 NPO 法人）ジャパン・プラットフォーム

コソボ紛争の経験を教訓に、NGO、経済界、政府の対等なパートナーシップのもと、2000 年に発足した日本の緊急人道支援のしくみ。平時より、3 者および多様な人々が、それぞれの強みや資源をいかして連携できるプラットフォームとして機能し、国内外の自然災害による被災者、紛争による難民・国内避難民に、迅速かつ効果的に支援を届けている。これまでに 65 以上の国・地域において、総額 1008 億円、2,600 以上の支援事業を実施。政府からの ODA 資金、6,000 社を超える企業や団体、のべ 10 万人以上の個人のご寄付に支えられ、2017 年度以降の年間平均支援者数は 200 万人以上にのぼる。各得意分野を持つ 45 以上の加盟 NGO を様々な形でサポートしながら、緊急人道支援のプロフェッショナルとして、支援を必要とする人々のニーズに根ざした活動をしている。

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム

渉外広報部 広報担当：高杉 TEL：03-6261-4035

渉外担当：木島 TEL：03-6261-4036

E-mail：info@japanplatform.org